

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【道後中学校】

<第1学年：総合的な学習の時間>

本校は、総合的な学習の時間の中で「防災」の単元を設定し、学年ごとに「自助」「公助」「共助」のテーマで学習を進めている。

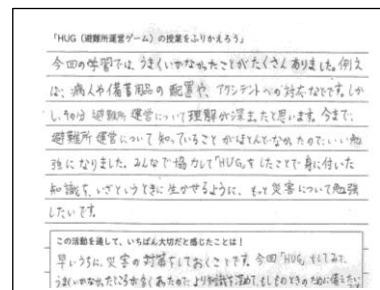
1年生は「自助」をテーマに、自然災害の種類や避難方法、地域の災害の歴史、対策などについて学習した。また、松山市危機管理課、愛媛大学防災情報研究センターなど関係機関と連携してワークショップを行い、非常用持ち出し袋、新聞紙スリッパ、非常用トイレ、ロープワークの4グループに分かれ、災害発生に備えた対応を学んだ。さらに、松山市が作成した資料等を活用して、水害を想定したマイトimelineをWEB上で作成した。また、自助について学んだことを公民館で地域の方に向けて発表した。



～防災ワークショップから～



～HUG（避難所運営ゲーム）～



～生徒の振り返り～

<第3学年：総合的な学習の時間>

3年生は「共助」をテーマに、避難所運営を中心に学習した。1年生と同様に、松山市危機管理課、愛媛大学防災情報研究センターから講師を招き、HUG（避難所運営ゲーム）を体育館で行った。さらに、被災地に赴き、避難所で医療活動に従事された看護師を講師に招き、体験に基づいた話を伺う機会を設けた。今後は3年間の防災学習のまとめとして、本校で避難所運営の実習をした。

本校の防災学習は関係機関や地域と連携しながら実施しており、専門的な立場から指導していただくことは生徒の意欲を喚起するとともに、教職員にとっても学びの場となっている。そして、防災学習の成果を文化祭で発表したり、防災新聞・防災レポートにまとめて展示したりして発信している。3年生は、1年生の時から防災家族という設定で「大地震に備える」「豪雨に備える」「避難所でどう動く」というテーマで毎年メッセージ性のある内容を、映像やWEBなどを活用した劇を上演してきた。このような取組が全校で防災学習の振り返る場となり、さらに家庭や地域の防災意識を高めるための貴重な発信の場となっている。